

令和4年度

昭島市立玉川小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

学校教育目標	◎精いっぱい学習する子 ○人のためにつくす子 ○すすんで体をきたえる子	ヒューマン	【目指す学校像】	・子供たちにとって学びがよいある学校 ・教職員にとって働きがよいある学校
			【目指す児童・生徒像】	・心身共に健康な児童 ・創造性に富んだ児童 ・人間として調和のとれた児童
			【目指す教師像】	・人権感覚が豊かな教師 ・創造性に富んだ教師 ・チームを意識した協調性のある教師 ・絶えず研究と修養に励む教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、主体的に学びにかう力を育成する。	自らの考えを広げ深める対話的な学びを工夫する。	体育の授業改善を中心に、学び合いの授業を実践する。	4 1 学び合い活動等の交流…80%以上の授業 3 1 学び合い活動等の交流…70%以上の授業 2 1 学び合い活動等の交流…60%以上の授業 1 1 学び合い活動等の交流…60%未満の授業	2	4 1 学習定着度75%以上…90%以上の児童 3 1 学習定着度75%以上…80%以上の児童 2 1 学習定着度75%以上…70%以上の児童 1 1 学習定着度75%以上…70%未満の児童	3	令和4年度の校内研究のテーマを「自分を表現し、学びを深める児童の育成」とし、どの学年・学級においても、学び合い活動を学習に取り入れている。	取組指標の評価に対し、成果指標の評価が向上している。	B	校内研究を通して、学び合いのできる児童を育成する。
		児童向け資料「家庭学習の進め方」を活用し、家庭学習の充実を図る。	年3回の家庭学習強化月間を通して、家庭学習の習慣付けを図る。	4 1 強化月間中の家庭学習の提出率…90%以上の児童 3 1 強化月間中の家庭学習の提出率…80%以上の児童 2 1 強化月間中の家庭学習の提出率…70%以上の児童 1 1 強化月間中の家庭学習の提出率…70%未満の児童	3	4 1 学習定着度75%以上…90%以上の児童 3 1 学習定着度75%以上…80%以上の児童 2 1 学習定着度75%以上…70%以上の児童 1 1 学習定着度75%以上…70%未満の児童	3	今年度より、家庭学習教科月間の内容を整理し、子供のやる気を引き出しながら、家庭学習の提出率向上に努めている。	取組指標、成果指標が共に良く、授業が順調に進められた。	B	学力向上部会から家庭学習に関する企画を学期に1回ずつ提案する。
		児童にやさしい教室環境、学習環境、授業を工夫・改善する。	玉小スタンダードに基づき、教室環境や学習環境、授業の進め方を整える。	4 1 玉小スタンダードに基づいた指導…90%以上の教員 3 1 玉小スタンダードに基づいた指導…90%以上の教員 2 1 玉小スタンダードに基づいた指導…70%以上の教員 1 1 玉小スタンダードに基づいた指導…70%以上の教員	4	4 1 授業が分かりやすい…95%以上の児童 3 1 授業が分かりやすい…90%以上の児童 2 1 授業が分かりやすい…80%以上の児童 1 1 授業が分かりやすい…80%未満の児童	3	児童が学習の見通しをもつことができるように授業や学習環境を工夫している。	取組指標、成果指標が共に良く、授業が順調に進められた。	B	1時間の学習の流れを児童に示し、学習の見通しを児童にもたせるようにする。
		道徳授業地区公開講座を中心として組織的に道徳教育に取り組む。	道徳教育推進教師を中心に授業改善を進めより良く生きるための道徳性を養う。	4 1 考え、議論する道徳授業の実施…95%以上の教員 3 1 考え、議論する道徳授業の実施…90%以上の教員 2 1 考え、議論する道徳授業の実施…80%以上の教員 1 1 考え、議論する道徳授業の実施…80%未満の教員	2	4 1 社会通念上のいじめ…0件 3 1 社会通念上のいじめ…1件から5件 2 1 社会通念上のいじめ…6件から10件 1 1 社会通念上のいじめ…11件以上	3	タブレット教材等を活用しながら、考え、議論する道徳の授業を推進している。	議論を深め、行動につながるような道徳の教育を進める。	C	議論を自分事として行い、行動につながるような道徳の教育を行う。
豊かな心	道徳教育の充実・推進を図り、規範意識、社会参画意識を養い、自己有用感を育成する。	「玉川小のやくそく」を継続的に発信し続け、定着を図る。	全教員が共通理解を深め、生活・授業規律を徹底する。	4 1 玉小スタンダードに基づいた指導…90%以上の教員 3 1 玉小スタンダードに基づいた指導…80%以上の教員 2 1 玉小スタンダードに基づいた指導…70%以上の教員 1 1 玉小スタンダードに基づいた指導…70%以上の教員	4	4 1 安心して生活できている…95%以上の児童 3 1 安心して生活できている…90%以上の児童 2 1 安心して生活できている…80%以上の児童 1 1 安心して生活できている…80%未満の児童	4	全教員が生活指導タなど児童の様子について情報共有し、安心して学習できる環境を作っている。	教員が個々の児童について情報共有がしつかりできている。道具類の整理整頓も児童ができるように。	A	児童の学校での生活環境である教室環境を整え、気持ち良く生活できるようにする。
		自己有用感を高めさせるために、特別活動の充実を図る。	縦割り班活動を通して、自主的、実践的に集団行動する態度を育成する。	4 1 集団としての活動が楽しめた児童…90%以上 3 1 集団としての活動が楽しめた児童…80%以上 2 1 集団としての活動が楽しめた児童…70%以上 1 1 集団としての活動が楽しめた児童…70%未満	4	4 1 楽しく学校生活を送っている…95%以上の児童 3 1 楽しく学校生活を送っている…90%以上の児童 2 1 楽しく学校生活を送っている…80%以上の児童 1 1 楽しく学校生活を送っている…80%未満の児童	4	高学年が積極的にリーダーシップを発揮し、縦割り班活動を充実したものにしている。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	A	高学年をリーダーとした縦割り班活動を続けていく。
		体力調査結果を検証・活用し、体育旬間を改善する。	体育旬間の年間指導計画を立て、ねらいを明確にして実施する。	4 1 体育旬間の活動に取り組んだ児童…90%以上 3 1 体育旬間の活動に取り組んだ児童…80%以上 2 1 体育旬間の活動に取り組んだ児童…70%以上 1 1 体育旬間の活動に取り組んだ児童…70%未満	4	4 1 進んだり体を動かしたりしている…95%以上の児童 3 1 進んだり体を動かしたりしている…90%以上の児童 2 1 進んだり体を動かしたりしている…80%以上の児童 1 1 進んだり体を動かしたりしている…80%未満の児童	4	業間に行った持久走や長縄の活動を通して児童が体を動かすことに親しんだ。	体を動かすことが好きな児童が増えているのは良い。	A	年間を通した体育旬間の計画を立て、児童が積極的に体を動かす機会を設ける。
		生活指導部を中心に、安全に配慮した学校運営を行う。	危険察知能力を高めさせるために、計画のかつ系統的に安全に関する指導を行う。	4 1 安全に関する指導の実施回数…20回以上 3 1 安全に関する指導の実施回数…15回以上 2 1 安全に関する指導の実施回数…11回以上 1 1 安全に関する指導の実施回数…11回未満	4	4 1 安全や健康についての知識を生かす…95%以上の児童 3 1 安全や健康についての知識を生かす…90%以上の児童 2 1 安全や健康についての知識を生かす…80%以上の児童 1 1 安全や健康についての知識を生かす…80%未満の児童	3	組織として計画的に安全に関して指導ができている。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	SOSカードなど児童自身が安全について考える手立てを続け、充実させていく。
健やかな体	体育の授業改善とともに、日常的な運動習慣を定着させ、運動に親しむ資質や能力を育成する。	自らの健康を適切に管理するとともに改善能力を培う。	元気アップガイドブックを活用し、運動や健康の大切さについての意識の向上を図る。	4 1 元気アップガイドブックの活用…9回以上 3 1 元気アップガイドブックの活用…6回以上 2 1 元気アップガイドブックの活用…3回以上 1 1 元気アップガイドブックの活用…3回未満	3	4 1 食事や栄養についての知識を生かす…95%以上の児童 3 1 食事や栄養についての知識を生かす…90%以上の児童 2 1 食事や栄養についての知識を生かす…80%以上の児童 1 1 食事や栄養についての知識を生かす…80%未満の児童	3	元気アップガイドブックを活用した取組を行い、児童が食事や栄養についての知識を生かしている。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	元気アップガイドブックを活用し、児童が自分自身を知ったり、運動や健康について考えたりできるようにする。
		伝統文化に関する理解を深め、多様な文化等を受け入れる態度を育てる。	外部人材等を活用した伝統文化に関する授業を実践し、多様な文化を受け入れる態度を育てる。	4 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…全学年 3 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…五つの学年 2 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…四つの学年 1 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…三つの学年	1	4 1 自分や友達を大切にしている…95%以上の児童 3 1 自分や友達を大切にしている…90%以上の児童 2 1 自分や友達を大切にしている…80%以上の児童 1 1 自分や友達を大切にしている…80%未満の児童	4	外部人材は、主に職員研修での講義等で活用している。	より地域とのつながりや地域人材の活用が必要である。	C	地域の外部人材を積極的に活用して、効果的な学習ができるようにする。
		心のバリアフリーを浸透させ、多様性を尊重する態度を育てる。	特別支援教育巡回指導員、または指導教諭による特別支援教育の理解学習を実施し、多様性を尊重する態度を育てる。	4 1 理解学習の実施…全学年 3 1 理解学習の実施…五つの学年 2 1 理解学習の実施…四つの学年 1 1 理解学習の実施…三つの学年	4	4 1 思いやり的心をもって行動している…95%以上の児童 3 1 思いやり的心をもって行動している…90%以上の児童 2 1 思いやり的心をもって行動している…80%以上の児童 1 1 思いやり的心をもって行動している…80%未満の児童	4	特別支援教育巡回指導員や心理の専門の講師による理解学習を教員研修で行い、理解教育の充実を図った。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	特別支援教育について研修を行うことで職員が理解を深めて児童の支援に取り組めるようにする。
		小中連携した児童の育成を図る。	自身の成長や変容に気付くことができるようにキャリア・パスポートの活用を図る。	4 1 キャリア・パスポートの活用…4回以上 3 1 キャリア・パスポートの活用…3回以上 2 1 キャリア・パスポートの活用…2回以上 1 1 キャリア・パスポートの活用…1回未満	4	4 1 自分の将来について考える…95%以上の児童 3 1 自分の将来について考える…90%以上の児童 2 1 自分の将来について考える…80%以上の児童 1 1 自分の将来について考える…80%未満の児童	3	キャリア・パスポートを学期毎に活用し、キャリア教育の充実を図っている。中学校・家庭との連携も図っている。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	キャリア・パスポートを自分のポートフォリオとして活用できるように児童が振り返る時間をもたせる。
輝く未来	日本の伝統文化理解と継承を図り、多様な文化の尊重と国際理解・協力の態度を育成する。	伝統文化に関する理解を深め、多様な文化等を受け入れる態度を育てる。	外部人材等を活用した伝統文化に関する授業を実践し、多様な文化を受け入れる態度を育てる。	4 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…全学年 3 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…五つの学年 2 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…四つの学年 1 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…三つの学年	1	4 1 自分や友達を大切にしている…95%以上の児童 3 1 自分や友達を大切にしている…90%以上の児童 2 1 自分や友達を大切にしている…80%以上の児童 1 1 自分や友達を大切にしている…80%未満の児童	4	外部人材は、主に職員研修での講義等で活用している。	より地域とのつながりや地域人材の活用が必要である。	C	地域の外部人材を積極的に活用して、効果的な学習ができるようにする。
		心のバリアフリーを浸透させ、多様性を尊重する態度を育てる。	特別支援教育巡回指導員、または指導教諭による特別支援教育の理解学習を実施し、多様性を尊重する態度を育てる。	4 1 理解学習の実施…全学年 3 1 理解学習の実施…五つの学年 2 1 理解学習の実施…四つの学年 1 1 理解学習の実施…三つの学年	4	4 1 思いやり的心をもって行動している…95%以上の児童 3 1 思いやり的心をもって行動している…90%以上の児童 2 1 思いやり的心をもって行動している…80%以上の児童 1 1 思いやり的心をもって行動している…80%未満の児童	4	特別支援教育巡回指導員や心理の専門の講師による理解学習を教員研修で行い、理解教育の充実を図った。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	特別支援教育について研修を行うことで職員が理解を深めて児童の支援に取り組めるようにする。
		小中連携した児童の育成を図る。	自身の成長や変容に気付くことができるようにキャリア・パスポートの活用を図る。	4 1 キャリア・パスポートの活用…4回以上 3 1 キャリア・パスポートの活用…3回以上 2 1 キャリア・パスポートの活用…2回以上 1 1 キャリア・パスポートの活用…1回未満	4	4 1 自分の将来について考える…95%以上の児童 3 1 自分の将来について考える…90%以上の児童 2 1 自分の将来について考える…80%以上の児童 1 1 自分の将来について考える…80%未満の児童	3	キャリア・パスポートを学期毎に活用し、キャリア教育の充実を図っている。中学校・家庭との連携も図っている。	取組指標や成果指標の評価から学校としてしっかり取り組んでいる様子が分かる。	B	キャリア・パスポートを自分のポートフォリオとして活用できるように児童が振り返る時間をもたせる。
		伝統文化に関する理解を深め、多様な文化等を受け入れる態度を育てる。	外部人材等を活用した伝統文化に関する授業を実践し、多様な文化を受け入れる態度を育てる。	4 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…全学年 3 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…五つの学年 2 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…四つの学年 1 1 外部人材等を活用した伝統文化の授業…三つの学年	1	4 1 自分や友達を大切にしている…95%以上の児童 3 1 自分や友達を大切にしている…90%以上の児童 2 1 自分や友達を大切にしている…80%以上の児童 1 1 自分や友達を大切にしている…80%未満の児童	4	外部人材は、主に職員研修での講義等で活用している。	より地域とのつながりや地域人材の活用が必要である。	C	地域の外部人材を積極的に活用して、効果的な学習ができるようにする。